

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 6 項 2 目	事業番号	5010	所属長名	山岡慎司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	高井由美子	
法令根拠等	伊予市スポーツ推進委員規則				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	スポーツ推進委員の積極的な活動により、市民のスポーツ活動の活発化、地域活性化を図ることで、生涯スポーツ・レクリエーションの振興に寄与する。						
事業の対象	スポーツ推進委員	事業の目的		スポーツ推進委員の活動を通して、市民のスポーツ意識の高揚、技術の向上を図る。			
事業の内容 (整備内容)	スポーツ推進委員活動の推進	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	904	869	0	0	0	862	スポーツ推進委員数	人	30			30
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	総会(県・市)への参加人数	回/人	2回/26人			2回/29人
一般財源	904	869	0	0	0	862						
職員の人工(にんく)数	0.45	45.00				0.45	研修会への参加人数	回/人	2回/15人			2回/8人
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	4,496	360,509				4,458						
主な実施主体			実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					1,000	900	1,000	900	1,000	4,800		
成果指標	指標	スポーツ推進委員数	単位		⇒	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	市民の生涯スポーツの振興のためのスポーツ推進委員の確保を図っているか。				目標	30	30	30	30		
	指標で表せない効果					実績	30	30				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)											
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	委員に対し、年間スケジュール (活動計画) を示し、協力的体制整備に努めた。 スキルアップを目指し、研修会等の参加など積極的に取り組んだ。 研修会等参加について、乗り合わせとりまとめ調整を行うなど、一体感をもって取り組んだ。市民スポーツの意識の高揚を図るなど生涯スポーツ事業を推進できた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	今とこの市の関与・実施は妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体に委ねるべきである。	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1	施策推進に向け、効果を認めることができる。 施策推進につなげていない。	3						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) スポーツ推進委員はスポーツ基本法に基づき教育委員会より委嘱した委員であり、生涯スポーツ・レクリエーションの推進・地域スポーツ活動を支援するため、継続推進が必要である。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1	施策推進に向け、効果を認めることができる。 施策推進につなげていない。	3							
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3							
所属長の課題認識	市民 (受益者) 負担の適正	コスト効率	5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	市民の生涯スポーツの推進に貢献しており、今後もスポーツ推進委員の確保を円滑に行うとともに、スキルアップに努め住民のスポーツ振興に努める。			
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	